Arai Darumaya

vol.11

2026年11月

だるま屋通信

— 秋号 —

今号のtopics

Topics 1 未の干支だるま・張り子・限定商品♪

Topics 2 伝統の技の継承

Topics 3 ふるさと納税の返礼品に♪

Topics 4 だるまのお客様のご紹介

Topics 5 読者のかたへのご挨拶

だるま屋通信はダウンロードして紙でご覧いただけます。
最適サイズはA4です。スマホなどでご覧いただく場合は、
ピンチアウト(画面を指2本で拡大)していただけます。

Topics 1

未の干支だるま・張り子・限定商品♪

不安な世界情勢や治安の悪化を感じる昨今。平和の象徴の干支の未に世界平和と天下泰平の願いを込めております。

未の干支だるま・張り子の親子を１０月２５日の大安・大明日に発売開始しました。早々に工房にご来店してくださったお客様から、２周（２４体）集まったよ♪とお声を掛けていただく嬉しいことがありました。

飛翔だるま



飛翔の文字は、飛躍・成功・心願成就・合格祈願などの願いを込めて４代目が力強く描きます。なんとも愛らしい右手のピースは平和を表し、恵比寿様のように穏やかに笑う表情に福がやってきますよ。

だるま乗せ張り子



張り子は、和紙ならではの素朴な質感と目入れが出来るだるまの良さを兼ね備えていますよ♪

４代目が未年なことから、特別なだるまを作りたいと、未の『飛翔だるま』を製作しました。昨年で荒井だるま屋は無事に１６０周年を迎えられましたので、そこから限定１６０個にしております。昨年の『左馬』は限定１００個があっという間に完売してしまいました。今回も売り切れご免ですので、気になったかたはお早めにお買い求めくださいね。サイズは３号で干支だるまより一回り大きく目を引きますよ。他には、今年も『だるま乗せ張り子』を限定で販売しております。

家内安全、平和が一番♪

未の干支だるま・張り子

ヒツジは、その温和な性格から平和・家内安全を象徴し、群れをなして生活をする様子から、円満や協調性・絆といった意味を持ちます。
未という漢字の形が、美しさ・優しさの由来に関連し、運気向上の縁起の良い干支になります。

恒例のハートを見つけてください♪
幸運のベルを鳴らしてくださいね！



１周目の干支だるま

さる年から干支だるまが始まりました。最初は知名度は無く、たくさんのお客様に知っていただくまでは、４代目が販売に勤しみました。１週目は和紙の風合いを活かして、どこか優しく素朴なデザインになっています。



２周目の干支だるま

２周目は、エアーで色付けを始めました。近年はパーツを纏い立体的で奥行があるデザインになっています。どこかにハートも入れていますよ♪３周目も是非ともお楽しみに。



Topics 2

伝統の技の継承

１６０年という長い間、技術を継承することが出来ました。渡していく者、受け取る者、いつの時代もみんなが真剣でした。

だるま作りは、長い年月を掛けて継承していく必要があります。職人技は１年や２年で習得することはできません。１人前になるには最低でも１０年以上と言われています。現在、一番長く努めてくれている職人さんは４０年以上の大ベテランです。３代目のおかみが現役の頃に一緒に働きませんか、と声を掛けたのですが、その時はご近所に住んでいた子育て中の普通の主婦でした。そこから長年、根気強く修行をして荒井だるま屋にはなくてはならない職人となってくれました。自身の担当作業も忙しい中、現在では後世の職人を育てるべく、惜しみなく技術の全てを教えてくれます。

だるまの「顔描き」は最後に魂（縁起）を吹き込む最も神聖な工程とされており、荒井だるま屋でも一子相伝です。５代目が継承すべく鍛錬しています。



全てをご紹介しきれませんが、だるまを完成させるまではたくさんの工程があります。その全てを継承していかなければ１体のだるまは完成しません。伝統的な作り方だけではなく、１つひとつ心を込めて感謝のだるまを作るという昔からの教えも守り続けています。

ボディ作り

だるまのボディは木型を用いて作ります。工程も多く、乾　いてから次に進みますので、かなり日数を要します。





1 木型を使って下張りをします 2 下張りが乾いたら上張りをします 3 木型から取り出したら継ぎ張りで切れ目などを塞ぎます 4 底を付け 5 胡粉を塗り 6 乾いたら完成です！







ひげだるま（金目）

パワーが強いと人気のひげだるまは、手を掛けて作ります。ひげは、なんと昔は人毛でした。（今はナイロンです）束になった長い毛をだるまのサイズに合わせて切り揃え、手で入れた切り込みに植えていきます。金目も真鍮の板を適度な大きさに切り、叩いて丸みを作る手仕事です。











荒井だるま屋の返礼品は、楽天ふるさと納税・ふるなび・ふるさとチョイス・Amazon などに掲載されています。







Topics 3

ふるさと納税の返礼品に♪

今秋から平塚市のふるさと納税の返礼品になりました。ラインナップは、伝統の相州だるま４号・６号・８号と、合格だるま４号、干支だるまになります。是非とも『荒井だるま屋・だるま』で検索してみてくださいね。わたくどもの商品だけではなく、平塚市からは名産品など、魅力的な返礼品が驚くほどたくさん出ていますよ。是非とも平塚市をよろしくお願いします！

Topics 4

だるまのお客様のご紹介

第７回

今回ご紹介するのは、名入れだるまのお客様の中で一番北に位置する『キョクイチホールディングス』さんです。

数年前の浅草酉の市でキョクイチホールディングスの担当さんと出会いました。長年、寄付で贈られるだるまを置いていたそうですが、そのだるま屋さんが辞めてしまい新たなお店を探していたそうです。そこでキョクイチホールディングスさんが８年程前から熊手を購入している浅草金徳種田商店さんを介してわたくどもを紹介していただきました。人と人とのご縁に感謝です！



毎年、１２月３０日に目入れをして初セリの１月５日を迎えるそうです。

キョクイチホールディングスさんは大変大きな会社なのですが、神棚の大きさもなんとも規格外です。小さく見えるだるまは、荒井だるま屋の最大サイズの２０号（高さ６５cm）になります。隣の熊手も大きな神棚に見合うように特大サイズですよ。



キョクイチホールディングスさんの本社・北海道旭川市の外観です。卸売市場の運営・生鮮食品の製造・物流業をされています。一年のうち５ヶ月も雪が積もり続ける土地で、海と大地の恵み・大自然の美味しさを運び、お客様に幸福を届けています。

今までのご紹介では、取材に伺う関係で関東のお客様が多かったのですが、北は北海道から南は沖縄まで、有りがたいことに日本全国にお客様がいらっしゃいます。今回、画像とエピソードを快くご提供いただき、遠方のお客様をご紹介することができました。

一番南に位置する名入れだるまのお客様は、沖縄県渡嘉敷島にあります『リゾートホテルかなろあ』さんです。一昨年オープンした記念でお祝いのだるまをご依頼いただきました。こちらも共通の知り合いから紹介いただき、ご縁を結ぶことができました。



Topics 5

読者のかたへのご挨拶



今後、不定期刊誌などが出せたらいいな、と思っていますので、また機会がありましたらご覧いただければ幸いです。

２０２４年の春から掲載をスタートしました『だるま屋通信』ですが、２０２７年の冬号（来年の新年のご挨拶）をもって終了させていただきます。楽しみにしていただいていた皆さまには大変申し訳ありません。だるま屋通信をスタートしたきっかけは、オンラインストアにクレジット決済を導入するためにサイトをリニューアルした際、今までのホームページと紐づかずにまっさらなものになり、どのようなだるま屋なのかを知っていただきたいという気持ちで始め、続けてきました。閲覧数が伸びたり、読んで声を掛けてくださったりと嬉しいこともたくさんありました。掲載の時期が遅くなりつつも年に４回続けられたことは、ひとえに皆さまのお陰です。丸３年で一区切りとさせていただきます。今までお読みいただきありがとうございました！